

国民民主

KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス 編集部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRID 4F
TEL : 03-3593-6229 MAIL : info@new-kokumin.jp H P : new-kokumin.jp

こくみんみんしゅ
Press

号外

2026年SPRING

【連絡先】国民民主党茨城県第5区総支部(浅野さとし事務所)

国会事務所

〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館406号室
TEL : 03-3508-7231
FAX : 03-3508-3231

日立事務所

〒317-0071
茨城県日立市鹿島町1-11-13
TEL : 0294-21-5522
FAX : 0294-21-3014

公式サイト

<https://asanosatoshi.com/>



衆議院議員
浅野さとし

東海村長
山田修

一人ひとりの想いをつなぎ 誰もが幸せになれる 「いいムラ」をめざして

2026年特別企画として、本年も山田修 東海村長との特別対談を実施させていただきました。対談では、物価高対策、東海村の将来、東海村が果たすべき役割等について取り組んだ2025年を振り返り、今後のまちづくりの展望についての思いを語っていただきました。



山田村長の政策や活動等はこちらより確認できます



2025年を振り返り思いを語る

2025年度の振り返り

一人ひとりの想いをつなぎ、誰もが
幸せになれる「いいムラ」をめざす

浅野衆議院議員（以下、浅野） 2025年度は、山田村長が4期目の選挙を経るとともに、東海村発足70周年という節目を迎えた、東海村にとって「再始動」の年となりました。選挙戦という真剣勝負の場を通じて、村長が改めて感じた「村の課題」や「村民の願い」とはどのようなものでしたか。また、今年度からスタートした新たな総合計画では、若者や女性の活躍を柱に据えられました。原子力政策という国家課題と向き合いながら、村の未来を創る新たな任期が始まった2025年を、今どのような思いで振り返られますでしょうか。

山田東海村長（以下、山田） 2025年度は村長選挙があり、私は「東海第二発電所の再稼働は必要である」と表明して選挙戦に臨みました。原子力政策については、村長就任時から慎重かつ丁寧に取組んでまいりましたが、70周年の歩みも踏まえ、改めて本村のまちづくりには、原子力との共存共栄が必要であることを訴えさせていただきました。結果として、村民の皆様には、選挙後も含めて冷静に受け止めていただいているものと認識しております。

また、2025年度からスタートした「まちづくりの羅針盤」（新たな総合計画）においては、人口減少対策を最優先課題としており、子育て支援策の充実強化とともに、今後は、「こども・わかもの」が参画する

まちづくりが極めて重要であると考えております。これまで、「東海高校との連携」や「わかもの会議の活動」などに取組んでまいりましたが、一定の手応えを感じているところであり、次年度以降、更なる施策の推進を図ってまいります。

70周年を振り返る中で、「東海村が大好きでこの村に住み続けたい」という村民の声をたくさん聴いてまいりました。これからも、一人ひとりの想いをつなぎ、誰もが幸せになれる「いいムラ」をめざしてまいります。

当面の物価高対策と県内経済の成長にむけて

地域産業を持続可能で 力強い経済構造へと転換

浅野 東海村は、2025年度に水道料金を免除するなど、物価高に対してきめ細やかな住民支援を行ってまいりました。新年度は生活者一人ひとりの暮らしを支える施策をどのようにアップデートしていく予定でしょうか。また、村の強みである原子力産業や科学技術関連の強みを活かしたスタートアップ支援など、より付加価値の高い産業構造への転換を図る取組みにも注目しています。新総合計画の本格始動に伴い、物価高に揺るがない強い村の経済をどう構築していくのか、村長の展望を伺います。

山田 物価高に苦しむ生活者への支援は急務と考えております。昨年12月の国の経済対策において、市町村向けの「重点支援地方交付金」が配分されたところであり、本村としましては、住民一人当たり6,000円の給付金支給を行うこととしました。現在、早期支給に向けて準備を進めておりますが、こうした時に、マイナンバーカードがもっと有効に活用できればと思うところでもあります。

2026年度当初予算では、更なる物価高対策は盛り込んでおりませんが、社会経済情勢の変化を注視しながら、村民の生活支援策については、適時適切に対応してまいりたいと考えております。

村の強みを活かした産業政策としましては、2025年3月に策定した「産業振興ビジョン」に基づき、「重点産業における村内企業の受注規模拡大」と「スタートアップ企業の創出・誘致拡大」の2本を柱として一層の事業推進を図ってまいります。

本村の特徴である「研究開発」と「発電」という強固な産業基盤を活かし、中長期的な視点での取組みを展開することにより、地域産業を持続可能で力強い経済構造へと転換してまいりたいと考えております。

広域的視点から見た東海村の役割

次世代の中心となる
「こども・わかもの」をまんなかに据えた
施策の必要性を感じている

浅野 東海村は、世界屈指の原子力・科学技術の集積地であり、日本のみならず世界のエネルギー・科学振興において極めて特殊かつ重要な責任を担っています。同時に、村単独での手厚い福祉や教育など、「質の高い豊かさをつくりだす自治」を実践しているモデルケースでもあります。山田村長は、茨城県の中、そして日本の中で、東海村が果たすべき役割をどのように捉えていらっしゃるでしょうか。村長の哲学をお聞かせください。

山田 本村は、「原子力発祥の地」として、研究開発のみならず発電事業においても、常に先導的な役割を果たしてきたものと考えております。特に、JAEAやJ-PARCの研究活動においては、日本や世界が注目する成果が表れており、今後への期待も含めて、更なる環境整備が欠かせません。村としましても、国や県と連携しながら、必要な支援を継続してまいります。

また、村政運営においては、安定した財政力を活用し、行政サービスの充実を図ってきたところでありますが、本村の発展には、住民力の高さをベースとした「住民自治」の推進が大きく貢献してきたものと考えております。

時代の変化とともに、住民の意識も変わってきておりますが、まちづくりには、住民の参画が必要であり、特に今後は、「こども・わかもの」の参画は欠かせません。目の前の少子化対策だけではなく、次世代の中心となる「こども・わかもの」をまんなかに据えた施策の必要性を感じているところであり、東海村らしい先進的な取組みにチャレンジしてまいります。

国民民主党・浅野議員に期待すること

これまで以上に鋭く突っ込んだ
議論を展開していただきたい

浅野 今年の2月に施行された第51回衆議院総選挙を終えて、私自身は4期目とさせていただきました。選挙の際には応援をいただき誠にありがとうございました！一方で、永田町の景色は一変しました。衆議院では自民党単独で3分の2を超える316議席を有するまでに大きくなり、多くの野党が議席数を減らす中、



第51回衆議院
総選挙中、
山田村長の
応援演説

国民民主党は現有勢力を堅持したことで、国会での役割が一層大きくなっています。これからの国民民主党に期待すること。そして、私に対するご意見があれば是非お聞かせください。

山田 衆議院は、自民党一強となりましたが、国会における野党の役割は、一層重要になったと思います。国民民主党は、一貫して、「対決より解決」を訴えており、私も共感しているところであります。「国民そして生活者」にとって、何が一番大切なのか？というスタンスで国会における議論をリードしていただきたいと期待しております。

また、今後の国会運営において、発言力を高めるためには、やはり政党としての議員数が必要となりますので、地方議会も含めて、勢力拡大に努めていくことが重要かと思われます。頑張ってください。応援します。

浅野議員におかれましては、4期目となり、党においても、国会においても発言力や発信力が注目されてくると考えられますので、これまで以上に鋭く突っ込んだ議論を展開していただきたいと思っております。

また、地方の抱える現状や課題に対しても、引き続きご相談させていただきますので、一緒に解決に向けて取り組んでまいりましょう。よろしくお願いいたします。

2026年度に向けて

重点施策の推進や課題解決に向けた取り組みなど、年度当初から全力で走り続けたい

浅野 2026年度の抱負や個人的な目標があれば教えてください。

山田 2026年度は、年度という区切りでは、私の4期目の実質的なスタートとなります。新たな予算、組織、人事が揃って新年度を迎えることになり、重点施策の推進や課題解決に向けた取り組みなど、年度当初から全力で走り続けたいと思っています。

個人的な話とはなりますが、私は、4月で65歳を迎えます。法律上では、高齢者の仲間入りということですが、まだまだ老け込む歳ではないと思っていますし、体力も落ちてはいません。何よりも、新しいことにチャレンジしたいという気持ちが強く、仕事もプライベートも充実させてまいりたいと考えております。



この机で村をより良くするため
仕事しています



姉妹都市の
アイダホフォールズ市より
送られた
東海村発足70周年の
記念盾

浅野さとし プロフィール

略歴	1982年9月	生まれ
	2005年3月	青山学院大学工学部卒
	2007年3月	青山学院大学大学院理工学研究科修了
	2007年4月	株式会社日立製作所 日立研究所入社
	2013年8月	日立製作所労働組合研究所支部執行委員
	2015年9月	大島章宏衆議院議員秘書
	2017年10月	衆議院議員初当選(第48回衆議院選挙)
	2021年10月	衆議院議員2期目当選(第49回衆議院選挙)
	2024年10月	衆議院議員3期目当選(第50回衆議院選挙)
	2026年2月	衆議院議員4期目当選(第51回衆議院選挙)



日立事務所

〒317-0071 茨城県日立市鹿島町1-11-13
友愛ビル1階
TEL 0294-21-5522
FAX 0294-21-3014
Mail:contact@asanosatoshi.com

ご意見
ご要望

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館406号室
TEL 03-3508-7231
FAX 03-3508-3231
MAIL:contact@asanosatoshi.com

